

はくぶつかん

M HIRATSUKA CITY MUSEUM '88 1月号



謹しんで新年のお祝詞を申し上げます。

兎年ゆき、さて龍年となりますと… 龍は雲を起し雨を呼ぶ神通力を持つゆえ、一波乱ありやなしの危倶を否めぬところがあります。しかしながら龍はまた玉を抱いておりますれば、宝珠の慈光さん然と輝やいて、恵沢の花を散華させるやも知

れませぬ。願わくは後者であらまほしきことを望み、併せて御家内御一同様のいや栄えを祈念申し上げます。本年も博物館諸行事にご賛同賜わりたいと存じます。 平塚市博物館長 今泉 義廣

1月

- 9 土 土曜観察会／石仏を調べる会
- 12 火 星を見る会「冬の星雲・星団をみよう」
- 16 土 古文書講読会
- 17 日 自然観察会（遠藤原付近）
- 23 土 土曜観察会／石仏を調べる会
- 24 日 相模川を歩く会

●寄贈品コーナー

1/5～1/30 錦絵

●プラネタリウム

●1/9～2/28 宇宙への道

2月

- 6 土 古文書講読会
- 13 土 土曜観察会／石仏を調べる会
- 20 土 古文書講読会
- 27 土 土曜観察会／石仏を調べる会

●寄贈品コーナー

2/2～2/28 民俗

❀❀ 1月の行事 ❀❀

●みんなで調べよう「平塚のカエル」第2期 —カエルの卵を探そう—

アカガエル・ヒキガエルの分布を、主に卵とおたまじゃくしを探して調査します。

日：2月16日（火）／3月2日（水）／3月15日（火）／3月26日（土）／3月31日（木）。このうち、都合のよい日に参加して頂ければ結構です。

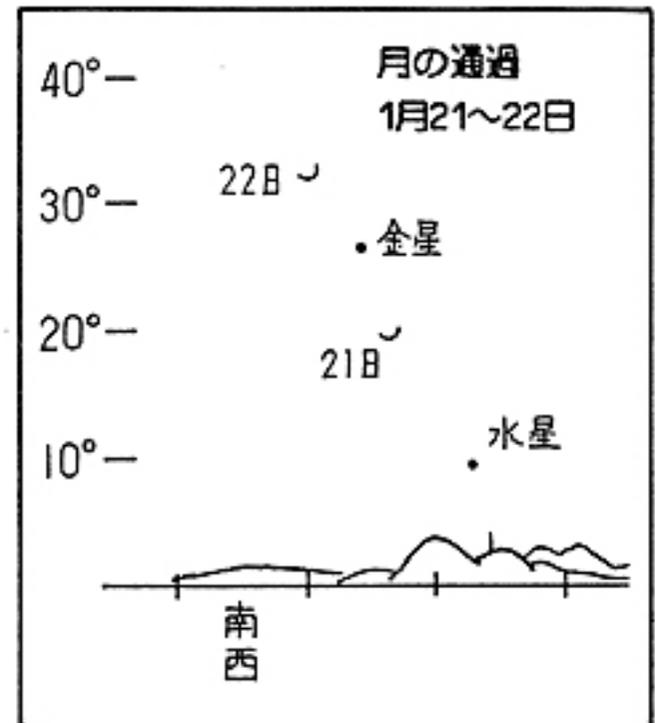
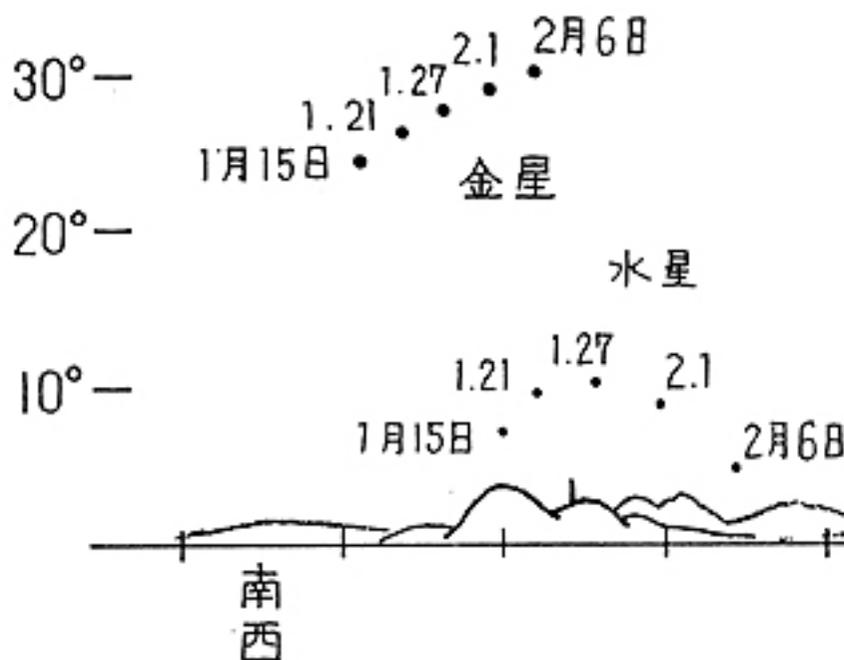
調査地：平塚市土屋・吉沢等

申込み：1月31日までに往復ハガキで。小中学生の方は、春休み期間だけの参加でもかまいません。なお、カエルについての予備知識はいりません。

西の空の惑星たち

（日没30分後）

40°— 山際のひかりの中に水星がいる



***** よいの明星を見よう *****

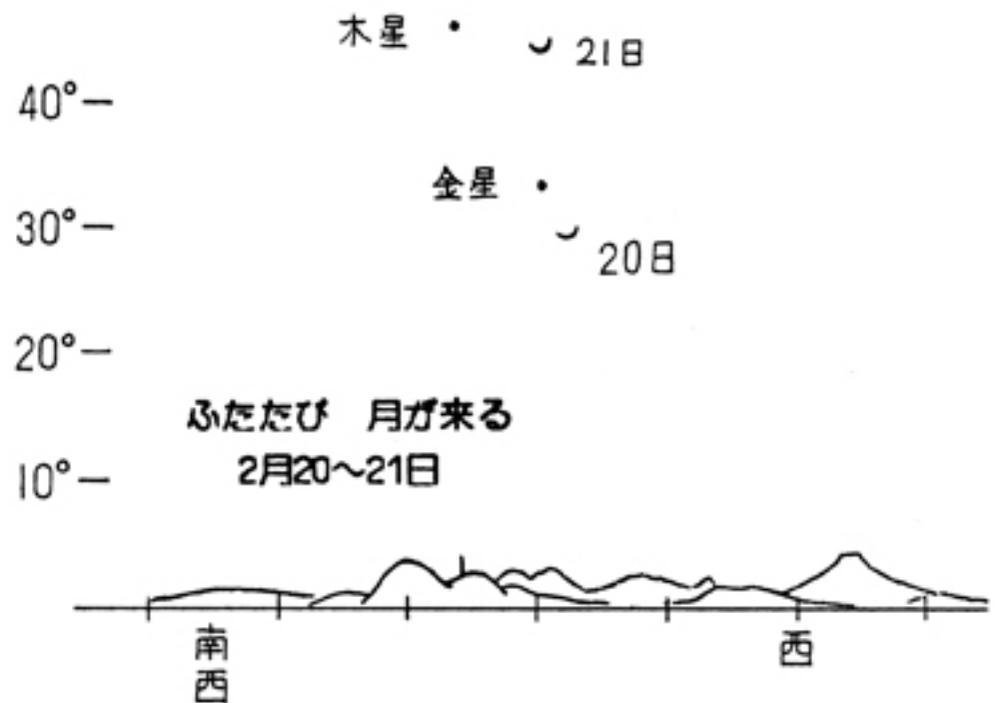
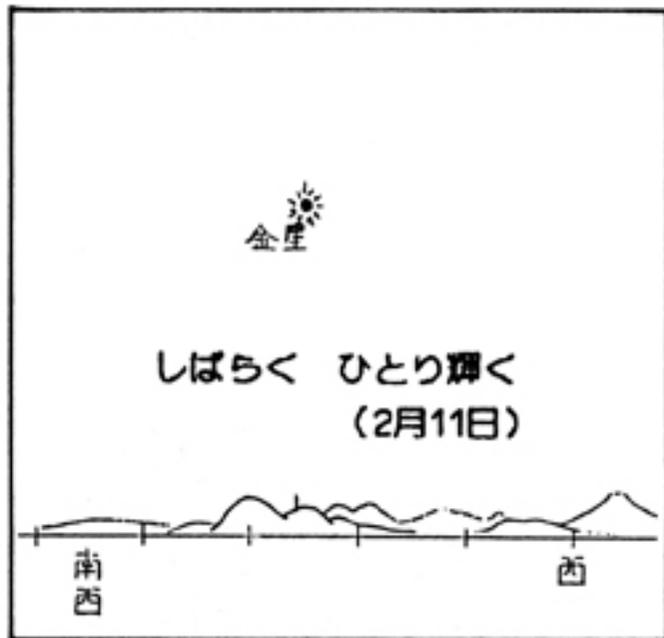
「明けの明星」「よいの明星」とはともに金星のことを言うものです。地球より内をまわる惑星は、当然のことながら、地球をはさんで太陽の反対側にくることはありません。したがって金星は、真夜中の空高く輝くことはなく、太陽より西にあれば明け方太陽にさきがけて昇って「明けの明星」になり、太陽より東にあれば日没後西の空に残って「よいの明星」になるのです。

今冬から初夏にかけては「よいの明星」です。
 - 4等前後のきわだつ輝きは美の女神「ヴィーナ

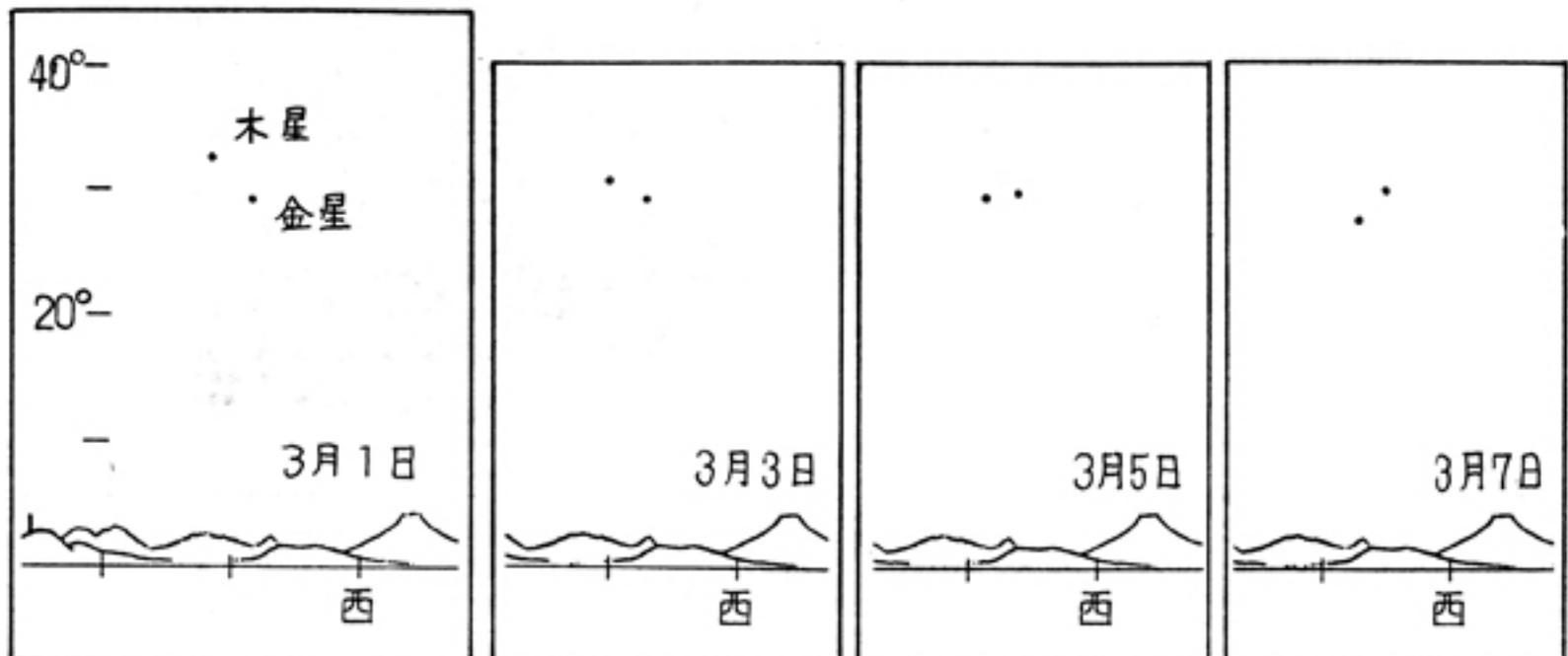
ス」の名をもって呼ばれ、単独でもさることながら、細い月や他の惑星と会合するさまのあでやかさは、しばしば人々の間にうたがいき（「ふしぎな光」たとえばUFO）すら生むようです。

そのようなわけで、今後の「彼女」のふるまいを、パソコン計算などでシミュレートしました。みなさんの観察または鑑賞の手引きとして下さい。

なおこれについては3階の天文展示のうち「星のひろば」のプログラムの中でも紹介する予定ですので、ご利用下さい。（沢村）



木星の接近 すれちがい
 (日没1時間後の位置)



タンポポは語る

ま冬にもタンポポは.....

1月、2月の厳冬期にも道ばたや土手の草の間に、黄色いタンポポの花を見かけることがあります。冷めたい風に首をすくめるようにして、地面すれすれに咲いている花を見ると、冬の自然の厳しさを感じるとともに、春の予感にわくわくする気持ちにさせられます。

日本のタンポポ、ヨーロッパのタンポポ

身の回りで見かけるタンポポに、日本にもともとあった種類と、ヨーロッパから持ちこまれて広がった帰化種があることは、よく知られています。平塚では、のべ3年にわたって、それらの分布調査が行われ、全国でも、もっとも詳しく分布のようすがわかっています。この調査は大勢の市民の皆さんの協力で行われ、その結果がパネルとして展示されています。

その分布図から、どんなことが読み取れるのか皆さんも考えてみてください。近年、平塚の町は

大きく変化しています。特に開発の進んでいる旭地区などで、タンポポの分布がどう変わっているか、注意していきたいものです。

また、細かく言うと、帰化種のタンポポには、セイヨウタンポポ、アカミタンポポという2種類があり、アカミの方が市街地に多く広がっています。これらの違いは、実の色を見ないとわかりません。展示してある実の色をよく観察してみてください。

多くなる帰化植物

タンポポに限らず、道ばたで見かける草には、外国から入ってきた種類が非常に多くなっています。花壇から逃げ出したもの、穀類などに混ざって密入国したものなど、渡来の経路もいろいろですし、原産地も世界中にまたがっています。

展示ではその代表的な種類を写真と標本で紹介しています。あれっ、こんな種類も帰化植物だったのか、という発見もあることでしょう。(浜口)

平塚市内のタンポポ類の分布
(1979年調査、平塚市タンポポ分布調査会1980による)

